



新たな団地再生 方針について

白川哲也(保守の会)

2013年策定の町田市団地再生基本方針の現在までの取組状況はどうか。

都市づくり部長 13年6月に木曾山崎団地地区、16年3月に鶴川団地とその周辺地区、19年8月に小山田桜台団地地区でまちづくり構想を取りまとめました。

2022年からスタートする新たな団地再生基本方針の主な改定内容は、積極的に協力をしていきます。



再犯防止 計画について

石川好忠(自由民主党)

再犯防止推進計画の策定状況について。

防災安全部長(仮称)町田市地域ホッとプランの中に位置づけ、22年3月の完成を目指し、作業を進めています。

都市づくり部長 1回目の申請受付を19年10月から20年3月まで行い、21年1月1日に128・03ヘクタールの指



相原駅 周辺道路 の進捗は

おげき重太郎(保守の会)

相原駅周辺で進められている大戸踏切立体化事業、相原駅東口アクセス路整備事業について、その後の経過と東口の将来像は。

赤塚副市長 都が進める大戸踏切立体化事業は、都市計画事業の認可期間が21年から7年延伸されました。今後は仮設道路整備に着手すると聞いています。相原駅東口アクセス路整備事業ですが、町田



子どもの 五輪観 戦計画は 中止に

細野龍子(日本共産党)

64歳以下の新型コロナウイルスワクチン接種予約時の混雑や混乱を解消する取組を問う。

高橋副市長 接種券を年齢ごとに分けて計画的に発送します。大きな混雑は発生しないものと考えています。

小中学生のオリ・パラ競技観戦計画が進められている。中止すべきだが、どうか。



藤の台団地



カシル バーピア 協 待 遇 改 善 を

殿村健一(日本共産党)

カシルバーピア協力は、市の指揮監督下の勤務実態から労働者性がある。法的地位の確保、待遇改善、補償を。

いきいき生活部長 協力員はボランティアであることから、辞められた後の補償を行う考えはありません。

国際版画美術館と芹ヶ谷公園を壊す(仮称)国際工芸美術館一体工事は白紙撤回し、市民と共に再検討すべき。



アフター コロナ の まち づくり

村まつ俊孝(公明党)

「都市再生整備計画」を策定したが、具体的にどのように進めていくのか。

赤塚副市長 21年度は、原町田大通りの一部を簡易的なパークレットに転用し、社会実験を実施し、周辺への波及効果などを検証していきます。

赤塚副市長 財源確保に取り組むとともに、丁寧な説明



認知症に やさし い まち づくり

若林章喜(自由民主党)

学校で認知症への理解を進めるべきだがどうか。

指導室長 教育委員会として、教員に対し認知症への理解を図っていくことを考え、人権教育研修を通して、16のまちだアイ・ステートメントについて紹介していきます。

認知症にやさしい市役所として、全ての職員が認知症サポーター養成講座の受講をしてはどうか。



いきいき 生活部長 今後も より多くの職員が 認知症サポ ーターとなれるよう、 着実に 講座を実施して いきます。

市民病院の次期中期経営計画については、医療の質の高さを、市民に分かりやすく周知すべきだがどうか。

病院事業管理者 パブリックコメントの場等を通じて、市民病院の質の高い医療を地域の皆様に周知できるように努力していきたい。



弱者への ワクチ ン 接 種 ／ 子 育 て

おんじょう由久(公明党)

在宅医療や精神疾患の方、障がい者施設入所の方などへの新型コロナウイルス接種対応は。

臨時接種担当部長 在宅治療等を行っている方ですが、医療機関に協力いただき、在宅接種をしています。障がい者入所施設なども、現在調整を行っているところです。

子ども生活部長 短期的取組として、待機児童が多い南地区に小規模保育所を整備する方向で進めています。中期は施設確保等、検討を進めています。施設整備以外には既存園を活用など考えています。

給食センターは全世代に向けた地域の食の拠点を目指すべき。どう考えているか。

市長 食を通じた地域みんなの健康づくりの拠点として機能させていく考え方を。



シルバ ーパス の 利 用 改 善 を 都 に

佐々木智子(日本共産党)

中小企業者、個人事業主への支援の現状と課題は。

経済観光部長 中小企業者家賃補助、キャッシュレス決済プレミアムポイント、飲食事業者応援事業を実施しています。デリバリー・テイクアウト支援給付金は、さらなる周知が必要と認識しています。

豪雨災害・土砂災害に備えた避難施設のコロナ禍における「3密」回避の対策は。

防災安全部長 風水害時避難施設開設運営マニュアルを作成し、避難施設での感染症対策を盛り込みました。さらに、屋内型簡易避難用テントを全避難施設に配備しました。

シルバークラスの利用改善を東京都に働きかけ、高齢者に寄り添った支援を。

いきいき生活部長 中間所得層に向けた利用料軽減枠の新設は、既に東京都市長会から都に要望しています。



安心な 鶴見川 ／ 35 人 学 級 実 現

森本せいやまちだ市民クラブ)

一般競争入札における「くじ引」が頻発している。事業者の意欲興盛、業界の活性化に逆行する。対応策を。

財務部長 くじによる事業者決定を少なくしていくことも含めて、情報収集しながら、引き続き研究していきたい。

「35人学級」と「GIGAスクール構想」で、個別最適・協働的な学びの実現を。学校教育部長 ICTを活用

用した授業を全ての小中学校で進め、少人数指導による細やかな指導体制を整えること。で実現を推進していきます。

「三輪町・三輪緑山」を中心に鶴見川の流域管理に不安の声がある。改善を求む。下水道部長 土砂や草木など、川の流に支障を来すこととがないよう、鶴見川、真光寺川、麻生川について、それぞれ河川管理者に適切な維持管理を要望していきたい。



鶴見川